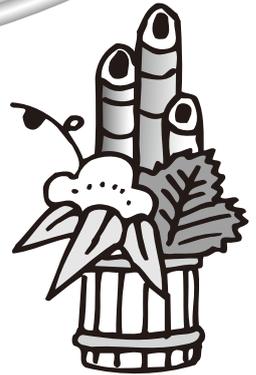


# ボランティアだより

第28号

あけましておめでとうございます  
今年もよろしくおねがいします



◀毎年恒例の社協ふれあいクリスマス会が12月20日(火)に開催され、たくさんの参加・協力がありました。“お達者サロン”の利用者からは、この日のために練習してきた民謡朗読・ハンドベル演奏・コーラス・鳴子踊りの披露があり、また日頃の感謝の気持ちという事で手作りの祝箸袋がボランティアさんにプレゼントされました。

あたたかい気持ちを受け取って笑顔いっぱいの楽しい一日を過ごすことができました。



◀お昼はボランティア手作りのお弁当を参加者全員でおいしく食べました。



▲山田地区福祉委員会主催“ふれあいクリスマス会”が山田集会所で開催されたくさんの参加がありました。



▲ボランティアグループメルシーとベアーの協力があり、ペアペアクラブのいも掘りは大盛況でした。



◀手をつなぐ親の会クリスマス会でさくらクラブがゲームで交流をしました。

# 被災地支援活動

## 東日本大震災被災地支援活動

### ● 災害ボランティアバスを運行しました！

10月28日(金)、太子町在住の男女幅広い年齢層の方々の“被災地のために何かしたい”という熱い想いを乗せ、片道12時間かけ宮城県岩沼市へ向かいました。往復車中泊の強行スケジュールでしたが、ボランティアリーダーのもと一致団結し、2か所の活動ニーズをこなすことが出来ました。



10月末で朝はかなり冷え込みましたが、日中は天気も良く、活動中は少々汗ばむほどで奮闘の一日でした。手の付けようもない場所の作業が進み、片付いていくと依頼主の表情も明るくなっているようでした。早く平常の生活に戻れるようお願い、帰路につきました。



### 参加者の声

- 実際に被災地を見て驚いた。実情が分かった。
- 津波の威力のすごさ、被害の甚大さを思い知った。
- 今後も支援活動に取り組むべきだ。
- もっと早い時期に行ければよかった。
- 機会があれば参加したかった。貴重な体験ができた。
- これからも自分にできることがあれば協力したい。
- 和歌山県への支援等、被災地支援に協力したい。
- 社協の段取り、対応がきめ細やかで安心して活動できた。

4時30分に作業が終わり集合写真のおり、家主さんと話す機会がありました。「多くの人たちが、職場、地域、学園から駆けつけて作業する姿のうしろに幾千万の人々の支援を感じ、生きる力、復興への決意を新たに持つことが出来ました。今日、勇気と元気をもらい明日からまたがんばれます。」と話しておられました。

最後になりましたが、災害ボランティアバスを企画・運営された太子町社会福祉協議会に敬意を表したいと思います。ありがとうございました。



#### ◀ A班の活動

津波被害で浸水した建物の荷物の運び出しや床下の泥出しを行いました。このお宅には9月に職員が支援活動を行っており、今回の活動でほぼ全て終える事ができました。

#### ▶ B班の活動

被災された農家の方が、農業を再開できる様に農業用水槽(かなり大きいです)の泥出しと水洗い、ビニールハウス周辺のゴミ拾いを行いました。



## ボランティアグループによる支援活動



“ちくちく会”より、手作りの防災ずきんを宮城県岩沼市藤曾根地区へ。



“ベアー”より、緊急支援物資として飲料水を和歌山県日高郡日高川町へ。



“さくらクラブ”より手描きの箸袋、“あじさい会”より手作りの巾着袋とお手玉、“和光会”から生活用品等を東日本大震災で被災された地域へ。

## 台風12号被災地支援活動

場所：和歌山県日高郡日高川町  
活動日：9月24日(土)

台風12号がもたらした大雨で奈良県・和歌山県では大きな被害が出ました。太子町社協から3名、近隣社協から1名の計4名で災害ボランティア活動に参加しました。



午前中は川の増水で浸水被害にあった畑の泥出しを行いました。午後からは別の活動場所で床下の泥出しを他のボランティアグループの方々と一緒に行いました。



### 災害ボランティアセンター支援に参加 ～ 9月18日(日)～22日(木)～

台風12号による被災地支援活動として、和歌山県日高川町災害ボランティアセンターへの支援に参加しました。今回派遣されたのは、日高川町役場美山支所(旧美山村役場)内にある、サテライト型のボランティアセンターで、日高川町の社協本部から日高川を上流へ車で約40分進んだ所にあります。朝7時過ぎに社協本部に出勤し、その日のボランティア用の飲料水やそれを冷やす氷、ボランティア用ピプス(バスト)などを車に積み込み美山サテライトへ向かいます。美山サテライトに到着すると、スコップや一輪車などの資材を倉庫から出し、9時半よりボランティアの受付・調整が始まります。夕方、活動を終えたボランティアの迎え入れが終了すると、センターの掃除や資材の片付けを行い、社協本部に戻り全体ミーティングに出席します。ミーティングでは、それぞれの部署での活動内容や課題の報告がありスタッフ全員での情報共有を行います。ミーティング終了後は、全員でピプスを洗濯し、明日の活動の準備をして一日が終わります。

今後、万が一南河内地域が大規模災害に遭った際、今回の被災地支援の経験を活かせるよう、太子町社協内の体制整備につなげて行けたらと考えています。



## ● これまでの被災地支援活動 ●

### 6月



● 6月9日～12日  
宮城県岩沼市

河内長野市社協Vバスの先発隊として職員が参加しました。被災した病院の片付けや、家屋の泥出し・瓦礫の撤去を行いました。



### 7月

● 7月15日～18日  
宮城県岩沼市

6月に続き、河内長野市社協Vバスの先発隊として職員が参加しました。市内でも被害が最も大きな地区の生活センター(集会所)の泥出し・瓦礫の撤去を行いました。

### 8月



● 8月5日～7日  
宮城県岩沼市

太子町社協1名、近隣社協2名の職員有志で活動を展開しました。

● 8月26日～28日  
宮城県岩沼市

太子町社協4名、近隣社協2名で現地入りし、活動を展開しました。

### 9月



● 9月16日～19日  
宮城県岩沼市

太子町社協3名、近隣社協2名の職員有志で蔵の片付け、母屋の片付け、床板はがし等の活動を行いました。また、藤曾根地区の集会所の片付けも実施しました。

# ボランティア伝言板

## 災害ボランティアセンター シュミレーション訓練に参加しました



11月20日(日)富田林市石川河川敷にて、大阪府・南河内地域9市町村合同の防災訓練が行われ、太子町のボランティアグループから10名が参加しました。当日は、災害ボランティアセンターで行う業務をボランティア側、スタッフ側それぞれ3つのチームに分かれ、受付、コーディネート、ニーズ聞き取り等の訓練を行いました。

## 中学生の 職業体験学習



11月9日から3日間、太子町立中学校2年生2人が、社会福祉協議会に職業体験に来られました。この体験をきっかけに、福祉活動やボランティア活動へ興味を持たれることや参加されることに期待しています。ご苦労さまでした。

# あっちこっちのいきいきサロン



## お知らせ

### 非常持ち出し袋等の斡旋販売のご案内



もしもの時に備えをしていますか？南海・東南海地震は100～150年間隔で発生しており、今後30年以内に発生する確率はかなり高いと予想されています。

地震や災害はいつ起こるか分かりません。日頃から水や非常食等を備えておきましょう。

太子町社会福祉協議会では平成19年度に続き、非常持ち出し袋等の斡旋販売を実施します。この機会に是非ご家庭で購入を検討ください。

お申し込みは、1月31日までに社会福祉協議会へ。

品名	単価(税込)
非常持ち出し袋 避難21点セット	6,000円
金平糖入りカンパン (5年保存)	200円
パンの缶詰 (5年保存)	300円
保存水500ml×2本 (5年保存)	250円
災害緊急用メガネ アドレンズ	3,800円



みなさまの“あたたかい心”をお待ちしています。

今回のボランティアだよりは、カラーで被災地支援活動特集としました。いかがでしたでしょうか。

一人ひとりの力は小さいですが、みんなで力を合わせることで大きな力となります。改めてボランティアのすごさを感じました。

平成24年1月1日発行

社会福祉法人 太子町社会福祉協議会

太子町ボランティアセンター

事務局 ☎0721 981311 <http://www.taishi-syakyo.net>